

2015年6月15日発行

サポセン和歌山

更生保護サポートセンター和歌山：〒640-8157 和歌山市 8 番丁 4 ・ 八番丁館 3

発行責任者：
和歌山保護司会会長
編集：企画調整保護司
Tel：073-460-9298
Fax：073-425-1301

第
16
号

5月13日(水)
アバローム紀の国
15:00～

平成 27 年度 和歌山保護司会総会・懇親会開催される

小西会長2期目、新役員と共に決意新たに!



平成 27 年度 和歌山市長感謝状

おめでとうございます

江川 友章 菊井 一夫 野々村邦夫
壬生 啓一 宇治田清治 梅本 街子
中井 正雄 平田 良子 松尾 幸一
青山 真弥 杉谷 睦生 田村 亘繪
岡崎 広治 貴志 明子 佐谷美津子
土橋 廣藏 丹生 和生 山本 久

引続いての活動をご期待いたします。

(順不同・敬称略)

多数のご来賓をお迎えし
和やかに懇親会を催す。

『新年度の活動』の広がり
『会の結束』を確かめ合う・・・。

総会終了後 2 階に場所を移し待望の懇親会。他の公務終了後に駆けつけていただいた尾花和歌山市長を始め、伊藤保護観察所長、市更生保護女性会、行政関係部署幹部多数を来賓に迎え、いつにもまして、和やか且つ盛大な懇親会となった。

美味しい料理に自然と笑顔がこぼれ会場いっぱいに談笑の輪が広がり、盃を重ねる楽しいひとときに、保護司同士の絆を深めることができた有意義な懇親会であった。

●懇親会参加者数●

東支部 30 名 ・ 西支部 20 名
南支部 18 名 ・ 北支部 29 名
来賓等 22 名 ・ 合計 119 名

4 支部より 114 名が出席。
市長感謝状が 18 名の方に
授与される・・・。

5月13日、アバローム紀の国3階において27年度の和歌山保護司会総会が、引き続き2階鳳凰の間で懇親会が開催された。

総会は、野々村総務部会長の司会で定刻に開会。定足数の確認の後、議長には東支部の松本貞夫保護司が選任された。

議案審議では、会員より予算の執行等についての質問も出されたが、原案通り全議案可決承認された。また、新役員（理事）の選出も候補者全員が承認され、その後の新理事会において小西健之氏が会長に再任。全役員が以下の通り選任され、総会において承認された。

◆平成 27 年～ 28 年度新役員◆

会 長 小西 健之（総務部会担当）
副会長 西村 順子（研修部会担当）

副 会 長 奥田 雅晴（協力組織部会）
副 会 長 乾 三千代（犯罪予防部会）
事務局長 得津壽美代（総務部会担当）
理 事 玉井 良弘（犯罪予防活動部会）
理 事 樫畑 直尚（協力組織部会担当）
理 事 小川 史乗（研修部会担当）
理 事 野々村 邦夫（総務部会会長）
理 事 北野 愛子（研修部会会長）
理 事 宮本 二（犯罪予防活動部会長）
理 事 温品 圭司（協力組織部会長）
監 事 畑口 道夫・森 幸子 2名



左：懇親会で挨拶
頂く尾花市長

下：あいさつする
新役員の皆さん



平成 27 年度和歌山保護司会・懇親会スナップ集

尾花市長、伊藤所長を囲む更女の方々



「アー疲れた」松本議長お疲れさまでした。

乾杯!

原 一起 教育長の発声で懇親会は一気に弾ける!



編集部が勝手に写真を掲載しました。肖像権の侵害?…平にご容赦ください。



▲何がそんなに可笑しかったの?



和歌山保護司会の皆さま よろしくお願ひします

平成 27 年度春の人事異動

《 庁内での異動 》

川瀬 早苗

企画調整課保護観察官から処遇部門・保護観察官に。担当地区は和歌山南・那賀・紀南

西野 華江子

企画調整課会計係・法務事務官から企画調整課庶務係・法務事務官に

●【担当地区Ⅱ日高】
就労支援統括・特別調整統括・更生保護施設統括・更生緊急保護・端正会建設委員会・自立準備ホーム統括・社会貢献活動担当官・研修



統括保護観察官
金山 忠夫
(前任地)
大阪保護観察所

名古屋保護観察所・企画調整課長から和歌山保護観察所長に。和歌山は初めての勤務地。「地域の方々との輪を広げ、地域社会の安全で安心なまち作りに貢献できるような全力を…」と抱負を語られる気さくな所長さんです。



所長
伊藤 一文



法務事務官
橋本 和真
(新規採用)
企画調整課・会計係

●【西】
事件係、統計各種報告(主)プログラム統計(副)、交通短期(主)、就労支援・社会貢献活動担当官・研修・更生緊急保護



保護観察官
宮前 克之
(前任地)
近畿地方更生保護委員会

●【企画調整課・保護観察官】
被害者担当官・社明運動大会(顕彰式典)・保護司組織・更生保護女性会・BBS会・更生保護協会・定例研修資料作成(副)



保護観察官
奥田 龍平
(前任地)
神戸保護観察所

各支部総会並びに 第1期定例研修会の報告

●研修テーマ●
「接触の確保について」

【東支部】

開催日時：平成27年4月23日(木)
午後13:30～

開催場所：ビッグ愛1201号室

出席人数：43名(総) / 43名(研)
特記事項：午後13時30分より第1期定例研修を開催。その後15時より総会。議長に山田(博)保護司を選出し、提案議案はすべて可決承認。

【西支部】

開催日時：平成27年4月23日(木)
午後13:30～

開催場所：観察所1階会議室

出席人数：28名(総) / 28名(研)
特記事項：議長は井本保護司。全議案可決承認さる。総会終了後第1期定例研修会を開催。

【南支部】

開催日時：平成26年4月28日(火)
午後2時～

開催場所：紀三井寺はやし3階

出席人数：25名(総) / 27名(研)
特記事項：議長に杉谷保護司を選出全議案が可決承認。午後3時30分より第一期定例研修を開催。

【北支部】

開催日時：平成27年4月22日(水)
午後13時30分～

開催場所：河北コミセン

出席人数：38名(総)
特記事項：議長に角田保護司を選出全議案可決承認さる。総会終了後に第65回「社明打合せ会」を開催。

第2期 地区別定例研修予定

※所属支部の研修日に都合がつかず、参加できない方は、他の支部での受講が出来ます。事前に支部長に申し出ください。

東支部：H27年7月17日 13:30
ビッグ愛601号室

西支部：H27年6月26日 13:30
和歌山保護観察所1F

南支部：H27年7月10日 15:00
紀三井寺はやし

北支部：H27年8月27日 13:30
河北コミセン

参考資料：保護局だより別冊

こがね くぎ

黄金の釘

この度、保護局だより編集部より更生保護に関係する方々の取組をまとめた「黄金の釘」が発行されました。心打つ25編の原稿が掲載されており、どれも更生保護への思い溢れるものばかりです。まさに更生保護の殿堂に打ち込まれた25本の「黄金の釘」ではないでしょうか。今回その内の一編を掲載いたします。ご参考にご覧ください。

「26歳で保護司になって」

亀田 信暁

平成26年10月1日をもちまして、保護司という責任あるお仕事を引き受けることとなりました。この度は保護局だよりに掲載していただけたということで、素直に今思っていることを書かせていただこうと思います。

26歳僧侶。鹿児島県薩摩川内市網津町に生まれ、高校はサッカーをするために熊本の高校で寮生活、高校卒業後東京の大学で英語を勉強し、その後仏教の勉強をするために京都で三年間。沢山のアルバイトもしました。趣味は音楽、路上で弾き語り、読書、バックパッカー。今パツと思ひ浮かぶ自分のプロフィールです。こう挙げてみても、どこにでもある普通の26歳です。そんな私が保護司にならせていただいたこと、新聞に載せていただいたこと、これは私自身の力というより、僧侶の袈裟、衣の力が大きいのではないかと考えております。

私は2年前から実家のお寺(浄土真宗本願寺派願生寺)の手伝いをしておりまして、それがご縁となり保護司のお話を頂きました。今年の春だったでしょうか、あるお宅の百回忌にお世話になった時です。百回忌のご縁はなかなかありませんので、記憶に残っています。法事は大体1

時間程、お勤めと法話をします。お勤めは自信をもって読むことはできるのですが、問題は法話です。読経が終わりまして後ろを振り返り、そして人生の大先輩の方々に前にして阿弥陀如来の話をしてします。私にとっては大変なことです。空っぽの引出しの中から無理矢理絞り出した話を精一杯します。緊張もします。この日も汗を滝のように流しながら法話を終えました。そして「外は寒いのに暑いですね、夏みたいですね。」と、そんな他愛もない会話をご家族の方としておりました。すると、その中に先輩保護司の方がいらっしゃいまして、保護司というボランティアがあること、その大まかな内容や、なり手を見つけるのが難しいこと、若い方にも保護司になって欲しいことなど伺いました。その時は返事を保留にして法事を終えました。

今思うとあの時断ってもよかったのに、何でこの仕事を引受けたのだろうな。こんな大きなことになるなんて思わなかったな。なんて考えていましたら、一つだけ心当たりがありました。それは、その法事の少し前にアメリカを西のロサンゼルスから東のニューヨークまで横断した時のことです。

夜のフリーウェイを車で走っていましたが横に座っている友達と少し深い話になりました。ちなみに運転しているのは友達です。アメリカは広大で真っ直ぐな道ばかりです。とても気持ちいいのですが、景色の余り変わらない道に私は直ぐ飽きてしまうので、6,000キロの道のりの殆どを友達に任せて横に座って友達が寝ないように話をする担当でした。その時も友達が寝てしまわないようにと気を遣って「どうするの? 日本に帰ったら?」と話を振りました。するとその友達から意外な答えが返ってきました。

「警察官になりたい。警察官になって更生する人の手助けをしたい。」と思ひもよらない答えをした友達。

「ほー」と私。続けて友達は「犯罪を犯す人の中にも、幼い頃虐待を受けていたり、複雑な家庭環境で育ったりしている人も多いんだ。そんな人が更生することの手助けをしたいんだ。」と。その言葉に対して私は「それってすごく難しいね。殺人とか大きな事件だと、被害者の家族の側からしたら、更生しないでいい、して欲しくない意見もあるだろうし、その間で働くというのは難しいね。」と。そんな会話を熱くしながらアメリカ横断したのを覚えています。

それが心のどこかにあって、この保護司の話を聞いた時、大きくその記憶が無意識のうちに働いたように思います。

では私は保護司として何をすることができるのでしょうか。

11月末に薩摩保護区の研修旅行で北九州医療刑務所と北九州自立更生促進センター、麓刑務所を見学に行かせていただきました。生まれて初めて刑務所の中に入り、刑を受けている方とすれ違いました。必然的にこの人たちは何をしたのだろうか？そんな目で見てしまう自分が嫌になります。想像していたよりも年齢の上の方が多くことに驚きました。自分の母くらいの年齢でしょうか。その姿を見ているとショックですし、悲しい気持ちになり、虚しさを感じました。罪を犯した動機はそれぞれですの一括りには言えませんが、もし生まれた環境が違ったならば、もしあの場にいなかったら、もし信頼できる方がその場にいたら…と色々考えてしまいます。

歎異抄という書物の中に「さるべき業縁もよおさば、いかなるふるまいもすべし」と書かれています。犯

罪に限らずですが、人間誰も縁というものが整ってしまえばどんな振る舞いもしてしまう危ういものである。という意味の言葉です。私もここでどういう縁が重なって罪を犯してしまうかもしれません。そうならないように自分を律すると同時に、罪を犯してしまった方の力になれるならばこんなに嬉しいことはないのかもしれないな、という気持ちが自然と湧いてくるように思います。

保護司として事件を受け持ったことはまだありません。実際にやってみて多くの事に気づかせてもらえるのでしょうか。いずれにしても私は大したことはできません。しっかり話を聴いて、真っ直ぐに向き合う。何かできることがあれば精一杯させていただきます。これくらいではないかなと思います。罪を犯してしまった方にとって保護司の言葉はその人の人生を左右することもあろうかと思えます。私自身後悔しないように努めたいと思います。

また、この仕事を通して共に成長させていただければ幸いです。

(平成26年12月)

7月の支部行事予定

《西支部》

- 社明ミ二集会／7月9日
(木)19:00～
場所：若宮神社

《北支部》

- 社明広報活動：7月18日
(土)11:00～
場所：パームシティ
- 社明ミ二集会／7月29日
(水)13:30～
場所：湊文化会館

長い間本当に
ご苦労さまでした
退任されました7人の先生方



【東支部】

山本 昭一 (やまもと しょういち)

委嘱年月日：H17.3.12

退任年月日：H27.3.11

従事年数：10年

井邊 徹 (いんべ とおる)

委嘱年月日：H15.6.13

退任年月日：H27.6.12

従事年数：12年

内海 敏雄 (うつみ としお)

委嘱年月日：H15.6.13

退任年月日：H27.6.12

従事年数：12年

【南支部】

大道 眸 (おおみち ひとみ)

委嘱年月日：S58.3.12

退任年月日：H27.3.11

従事年数：32年

南 昭宏 (みなみ あきひろ)

委嘱年月日：H07.3.12

退任年月日：H27.3.11

従事年数：20年

小野 圭子 (おの けいこ)

委嘱年月日：H11.6.13

退任年月日：H27.6.12

従事年数：16年

北村 邦夫 (きたむら くにお)

委嘱年月日：H01.6.13

退任年月日：H27.6.12

従事年数：26年

行・事・掲・示・板

「南支部 社明講演会」

- 開催日：H27年7月22日
- 場 所：紀の国志学館2F
- テーマ：未 定
- 講 師：未 定

第65回社会を明るくする運動

1. 日時：平成27年7月1日
2. 場所：JR和歌山駅頭
3. 集合：午前7:20
4. 広報活動：午前7:30
5. メッセージ伝達式：8:00～8:30 (わかちか広場)